

平成30年度 明石市議会建設企業常任委員会 議会報告会実施報告書

開催日時	平成30年11月21日（水）午後7時～午後8時30分	
開催場所	アスパア明石北館7階学習室701	
テーマ	モニターから見た道路・海岸について	
出席議員	委員長	中西礼皇
	司会者	大西洋紀
	記録者	絹川和之
	その他	林健太 楠本美紀 井藤圭湊 遠藤恒司（以上、建設企業常任委員）、辻本達也（議会活性化推進委員）
参加人数	道路モニター代表3名、海岸モニター代表3名	
傍聴人数	10名	
報告内容	<p>○議会報告（井藤委員）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・危険ブロック塀等撤去支援事業等について <p>9月議会において、民間施設の危険ブロック塀等の撤去費用に対して助成を行う事業費を追加する一般会計補正予算案について審査を行い、全会一致で可決した。危険ブロック塀等の撤去については、民間施設のブロック塀等の撤去が進んでいないため、県の補助制度を活用し、費用の一部を補助することで所有者による撤去の促進を図ろうとするものである。</p> <p>○山口県周南市への行政視察の報告（楠本委員）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・橋守隊（はしもりたい）について <p>周南市のインフラ施策の課題である広域に分散する施設の安全性確保・維持管理に係る人、カネ、技術力の不足等に対応するため橋守隊を発足した。橋守隊は、産・官・学・民が協働で、市内の身近な橋梁の清掃や簡易点検を実施することによる延命化活動を主な取り組みとしている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・通報アプリについて <p>市民からスマートフォンにより、市が管理する道路、河川、公園などの公共施設の異状箇所や、不法投棄などの情報を提供してもらうことで、市民と共に、異状箇所の早期発見、早期対応を図り、安心・安全なまちづくりを目指すものである。</p>	
主な意見・提言・と応答	<p>○議会報告に対する質疑など</p> <ul style="list-style-type: none"> ・通学路における企業の管理するブロック塀について、市は企業に対して指導できているか。 <p>⇒どこまで指導ができているか確認をする。</p> <p>（※後日の確認内容 市の担当部署と教育委員会で市内の通学路を点検し、危険と思われるブロック塀が設置されている企業には、注意喚起チラシのポスティングを行っている。）</p>	

- ・ 安全対策を行っていても、地震が起きたらブロック塀が倒れないとは限らない。子どもには、地震が起きたらブロック塀等から離れること、自分自身で身を守ることの重要性を教えてほしい。
⇒ブロック塀については、耐震の観点も考慮して事業を推進している。子どもに対しては学校での防災訓練等の防災に関するプログラムを実施している。
- ・ 通学路で危険だと感じる個人住宅のブロック塀があるが、どのようにお伝えすればよいか。
⇒市に直接申し出ていただきたい。

○行政視察報告に対する質疑など

通報アプリについて

- ・ モニターには高齢者が多いが、高齢者の大半はスマートフォンの使用が難しいのではないかと。ただ、PTAの方々と話をすると、若い世代はFAXや電話での報告よりスマートフォンを使った情報共有を希望しておられた。これまでの通報の方法も残した上で、通報アプリを取り入れてほしい。
- ・ スマートフォンを持っている中学生もいる。若者にとっては、通報アプリは使用しやすいと考える。また、通報に対する結果の回答も分かりやすいので、導入してほしい。
- ・ これまで異状箇所を発見しても忙しくて報告ができないこともあったが、アプリがあれば写真を撮ってすぐに報告ができる。親しみが持てるような事業の名前を付けて導入し、気軽に報告できるようにすることで活動の輪を広げてほしい。
- ・ 安心・安全のまちづくりの一環として、道守隊、浜守隊をつくってはどうか。
⇒スマートフォンのアプリに限らず、モニターからの通報に対する進捗状況が分かるようになればよいと考える。

○意見交換

- ・ 歩道のアスファルトに小さな穴が空いて、高齢者がつまずいてしまうところがある。工法が変わったのか。
⇒アスファルトには、大雨が降った時のために浸水性が良いものを使用しているところもある。場所によってアスファルトの工法を変えると聞いている。
- ・ 道路の穴について市に通報したところ、市はその穴をすぐに埋める対応をしてくれたが、埋めたところがまた剥がれてしまっていた。補修方法を考えてほしい。

	<p>⇒通報にすぐ対応することも大切であるが、完全に補修するのか、とりあえずの応急処置をするのか等を通報したモニターが把握できるよう、市とモニターとの密なコミュニケーションが必要だと考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 犬のフンや、カン、ビンなどが道路上に落ちていることがある。地域全体で美化するような取り組みが広がればよい。自治会にも協力を要請してはどうかと考える。 ・ 個人的な活動であるが、小学校の校長と話し合い、通学路の危険箇所の点検を行っている。 ・ 通学路にある横断歩道について、一旦停止しない危険な車も多い。子どもの安全対策のため、横断歩道のカラー舗装化を進めてほしい。 <p>⇒先日の全国市議会議長会研究フォーラムの中で、多様化する地域の課題に対して、議会がどのように地域に関わっていくのかという話があった。今日は様々な意見をいただいたが、まさにこのような声を聞く機会を設け、議員から行政に働きかけることが重要だと実感した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 西明石の南畑踏切の進捗状況を教えてほしい。 <p>⇒詳細については確認する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>※後日の確認内容</p> <p>立体横断施設（横断歩道橋）の整備について、現在JRと費用負担を含めた協定を結ぶための協議中である。今後の予定としては、2019年1月頃から詳細設計を行い、2019年度下半期から工事を行い、2年後の2021年度下半期に完成する見込みである。</p> </div>
--	--

明石市市議会議長 穠原成人様

平成30年12月6日

上記のとおり報告します。

常任委員長 中西礼皇